

2022年2月16日
企業会計基準委員会

企業会計基準委員会が会計基準アドバイザー・フォーラムのメンバーに再任

企業会計基準委員会は、会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の第4期メンバー（任期：3年）として再任されました。

ASAFは、2013年3月に国際会計基準審議会（IASB）に対して技術的な助言を行う目的でIFRS財団により設置された組織で、主要な各国の会計基準設定主体や地域グループによる12のメンバーから構成されています。ASAFの第4期メンバーは、次のとおりです。

地域	メンバー
アフリカ	パン・アフリカ会計士連盟（PAFA）
アジア・オセアニア （「世界全体枠」1を含む）	アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ（AOSSG） 企業会計基準委員会（ASBJ） 中国財政部会計司（MOF-ARD） 韓国会計基準委員会（KASB）
欧州 （「世界全体枠」1を含む）	欧州財務報告諮問グループ（EFRAG） フランス国家会計基準局（ANC） 英国エンドースメント審議会（UKEB） ドイツ会計基準委員会（DRSC）
アメリカ大陸	ラテンアメリカ会計基準設定主体グループ（GLASS） カナダ会計基準審議会（AcSB） 米国財務会計基準審議会（FASB）

（注1）各地域の第3期メンバーからの変更は以下のとおりである。

- 欧州 イタリア会計基準設定主体（OIC）に代わって、ドイツ会計基準委員会が選出されている。

当委員会は、2013年以降、ASAFメンバーとして、ASAF会議の機会を活用して積極的に国際的な意見発信を行っており、今後も、こうした取組みを続けていく予定です。なお、次回のASAF会議は、2022年3月31日及び2022年4月1日にビデオ会議の形式で開催される予定です。